

民間地域病院医療設備拡充事業



本事業により設置された手術台（城南病院）

[借款概要]

承諾額/実行額	13,000百万円 / 12,441百万円
借款契約調印	1981年2月
借款契約条件	金利4.0%、返済25年（据置7年）
貸付完了	1987年2月

[事業概要]

医療サービスが劣化した行政区域を対象として、民間地域病院を新設し、医療機器を供給することにより、地域医療の向上を図るもの。

[評価結果]

本事業は、韓国政府が策定した医療施設拡張長期総合計画（1980～2000年）の第一段階として地域医療の改善を図るものであり、1978年度円借款の「医療施設拡充事業」が対象とした市道立病院等がなく、医療環境がより劣化した地域53カ所を対象として、病院を新設し、X線設備、手術機器、麻酔設備等の基本的な医療機器（約600品目）を導入した。これらの機器は1986年にかけて調達され、既に耐用期間を経過し更新されたものも多い。

他方、病床数を見ると、本評価にて確認された23カ所の病院だけで8,381床（平均364床）に上り、目標の5,500床（平均86床）を大幅に上回っている。また、入院患者及び外来患者数は、実績が確認された33カ所の病院のみで全国の8.5%及び7.2%を占めている。

韓国の地域医療サービスは、1980年代以降、病床数、受診率、医師数等の増加に見られるように急速に改善されたが、本事業は先に実施された「医療施設拡充事業」と合わせ、医療環境整備の初期段階の一翼を担ったものと評価される。